

平成30年度第2回（栄養学・薬学・医学・歯学・看護学）分野連携グループ合同会議議事概要
（栄養学・薬学・医学・歯学）教育FD/ICT活用研究委員会
CCC看護学グループ運営委員会

- I. 日時 : 平成30年10月28日(日) 15:00~17:00
- II. 場所 : KP市ヶ谷カンファレンスセンター 6E会議室
東京都新宿区市谷八幡町8 (TEL: 03-5227-6911)
- III. 出席者 : 栄養学教育FD/ICT活用研究委員会 酒井委員長、市丸委員、原島委員、石崎委員、
鈴木委員、由良委員
薬学教育FD/ICT活用研究委員会 黒澤委員長、西村委員、石川委員、大嶋委員
医学教育FD/ICT活用研究委員会 高松委員長、内山委員、椎橋委員、平方委員、
大久保委員、渡辺委員(ネット参加)
歯学教育FD/ICT活用研究委員会 神原委員長、片岡委員、藤井委員、奥村委員
森實アドバイザー
CCC看護学グループ運営委員会 仲井委員、梶井委員、中山委員(ネット参加)
事務局 井端事務局長、森下、中村

IV. 議事概要

1. 開催要項の確定

黒澤委員長の議事進行により、分野連携アクティブ・ラーニング対話集会の具体的な開催内容について検討を行った。各分野の話題提供予定者から報告された話題提供案について協議を行なうとともに意見交流のテーマ、開催日時場所、事前アンケート内容の確認と具体的な進め方についての協議確認を行い、以下のとおり決定した。

(1). 話題提供内容の協議と決定事項

① 栄養学分野

話題提供者：由良亮 氏(中京学院大学短期大学部 准教授)

テーマ： 「課題発見・解決力を高めるICTを活用した科目横断型授業の取り組み」

内容： 栄養士・管理栄養士の問題発見・解決の基礎的能力を高めるために、科目横断型授業をICT活用のポータルサイトで展開し、学修活動をeポートフォリオで可視化・評価することを通じて、教員の意識改革や組織的な授業改善取り組みの重要性を考察する。

② 医学分野

話題提供者：大久保由美子 氏(東京女子医科大学 医学教育学教授)

テーマ： 「臨床技能の活用・応用力を高めるICT活用教育プログラムの導入」

内容： 医療面接(2年生)・身体診察(5年生)の臨床技能教育を有効的に行うため、Web上の事前事後テスト・学生の実技動画収録による振り返りを導入しました。TBLによる臨床推論(4年生)学修とあわせたスパイラル式の臨床における活用応用力を高める取り組みを紹介する。

③ 歯学分野

話題提供者：片岡竜太 氏(昭和大学 歯学部教授)

テーマ： 「ICTを活用した分野横断型の課題発見・解決型教育の提案」

内容： 超高齢社会、第4次産業革命(Society 5.0)など社会の変化を想定し、課題解決に多面的な観点から取り組む医療人材の育成を目指して、ネット上のポータルサイトで分野横断して意見交流や考察を可能にするオープンイノベーションによる教育システムを考察する。

④ 看護学分野

話題提供者：丸山陽介 氏(帝京平成大学 健康医療スポーツ学部講師)

仲井克己 氏(帝京平成大学 健康医療スポーツ学部教授)

テーマ： 「多職種連携による看護教育の改善に向けたICT活用の提案」

内容： リハビリ現場などの医療情報を総合的に理解するために、地域社会と連携しweb上にポータルサイトを形成して、理学療法・作業療法などの現場情報を共有し意見交換することで、多職種が扱う業務と自己の業務をマッチングする学びについて提案する。

(2).意見交流の内容と事前アンケートについて

今年度は、問題発見・解決力の向上を目指した課題探求型授業における ICT 活用を中心に、考える能力を身につけるアクティブ・ラーニングの授業改善を参加者全員による意見交流を通じて、認識の共有と対応策について探求するとともに、教育改善に向けて学生や地域社会などを含む多様な意見をネット上で取り入れるプラットフォームの可能性と課題、学修成果の質保証を客観的に担保する ICT を活用した外部評価モデルの可能性、多面的な知識の組み合わせにより新たな知見を獲得する分野横断型のフォーラム授業について、以下の4テーマで意見交流を行うことを確認した。

- ① 問題発見・解決力を高める課題探求型授業における ICT 活用の取り組みと課題
- ② ICT を活用した知識の創造・実践力の向上を目指す分野横断型フォーラム授業の必要性和導入の課題
- ③ ネット上で学内外の意見を取り入れたオープンな教育改善実現の可能性と課題
- ④ ビデオ試問による外部評価モデルの仕組み、実現に向けた課題・対応策

(3) 開催日時と場所

開催日時：平成31年1月26日（土） 14:00～17:30

開催場所：帝京平成大学 中野キャンパス

V. 今後の予定

事務局は委員にアンケート集計結果を報告し、進行役委員は運営シナリオをまとめる。次回は対話集会とし当日、事前打合せ会を実施することを確認した。